

平成 29 年度 業務改善等研修会
アサーティブコミュニケーション研修会
～活発に、意義のある意見交換～

1. 目 的

第三者評価受審にともなう施設の自己評価は、職場での活発な意見交換が重要になります。

職員同士がコミュニケーションを取るうえで、言いにくいこと、うまく伝わらないこともあるかもしれません。会議での意見の求め方や、普段の職員同士のやりとりのなかで、勤続年数の長い職員への意見のしづらさ、若手職員へ指導するときの伝えかたの悩みが解消されることで、よりよい職場づくりへ繋がっていくのではないのでしょうか。

今回の研修では、自己評価の実施に向けて、相手の気持ちを尊重しつつ、自分の意見を伝えるアサーティブコミュニケーションスキルの習得を目指します。

2. 主 催 神奈川県社会福祉協議会 かながわ福祉サービス第三者評価推進機構

3. 対象・定員 指導的立場にある職員や業務改善担当、現場リーダー層の職員など
(定員：40名、先着順)

4. 期 日

1 日目：平成 29 年 11 月 7 日（火曜日） } 時間はいずれも 9:30～16:00（受付 9:00～）
2 日目：平成 29 年 11 月 28 日（火曜日） } （両日参加が必須となります）
※内容は裏面をご覧ください

5. 会 場 神奈川県社会福祉会館 4階 第3・4研修室

6. 受講料 10,000円（税込）
(2日間・1名あたり：受講決定後、指定の口座にお振込みください。定員超過等本会の都合で参加をお断りした場合以外、納入後の受講料は返金いたしかねますので予めご承知おきください。)

7. 申込方法 別添申込書に必要事項を記載のうえ、ファクシミリ、Eメール、郵送のいずれかでお申し込みください。

締め切り平成 29 年 10 月 13 日（金）17:00 必着
(ただし、定員になりしだい締め切ります)。
受講決定通知は平成 29 年 10 月 19 日（木）までにファクシミリまたは郵送にてご連絡いたします。

8. 申込み・問い合わせ先

社会福祉法人 神奈川県社会福祉協議会
かながわ福祉サービス第三者評価推進機構
〒221-0844 横浜市神奈川区沢渡 4-2 県社会福祉会館内
電話 045-290-7432 FAX 045-313-0737
e-mail daisansya@knsyok.jp



【プログラム】

1 日目：平成 29 年 11 月 7 日（火曜日） 9:30～16:00（受付 9:00～）

アサーティブコミュニケーションの概要を学ぶとともに、自己のコミュニケーションに関する課題等を発見・認識します。さまざまな視点でアサーティブコミュニケーションの基本知識・スキルを学びます。

時間	プログラム	ねらい	講師
9:30 ～9:40	オリエンテーション		
9:40 ～12:00	【講義】 アサーティブコミュニケーションとは？	「協調的」かつ「発展的」に自分の意見を伝える手法であるアサーティブコミュニケーションの基礎知識を学びます。	川合雅子氏 (株WECOP 代表取締役)
13:00 ～16:00	【講義・演習】 アサーティブトレーニング I	アサーティブな表現とは具体的にどのようなものか、実例や実演を通して基本的な手法を学びます。	

2 日目：平成 29 年 11 月 28 日（火曜日） 9:30～16:00（受付 9:00～）、

伝えにくい事の伝え方、頼みごと・はっきり断る等、職場でよくある悩みの場面ごとに、アサーティブコミュニケーションを使ったロールプレイを行い、職場ですぐに実践できることを目指します。

時間	プログラム	ねらい	講師
9:30～ 12:00	【講義・演習】 アサーティブトレーニング II	1 日目の研修会の振り返りを行った後に、アサーティブの手法を身に着けるためのトレーニングを行います。	川合雅子氏 (株WECOP 代表取締役)
13:00 ～16:00	【演習・まとめ】 アサーティブトレーニング III	実際の職場を想定した場面でのロールプレイを行い、職場で実践する場合のコツを学びます。	

※プログラムの内容が一部変更になる場合もございますので予めご承知おきください。

～講師紹介～

川合雅子（かわいまさこ）氏

日本航空国際線客室乗務員を経て、1991 年株式会社 WECOP を設立。多くの企業において階層別研修、サービスマネジメント研修、動機づけ研修、キャリアセミナーを実施。NLP（神経言語プログラミング）や交流分析等を応用したコミュニケーションプログラムおよびキャリア開発プログラムに力を注ぎ、個別のカウンセリングやコーチングも行う。米国 CCE Inc. 認定 GCDF（キャリアカウンセラー）養成研修トレーナー。米国 NLP サンタフェ研究所トレーナー。NLP ライフコーチ。LAB プロファイル認定トレーナー。フェリス女学院大学・東洋大学非常勤講師。



～受講者の声～

昨年度の業務改善等研修会 受講者アンケートより

「自分の憶測で話を進めず、相手から言葉を引き出して問題解決していきたいと思います」
「相手への伝え方で悩んでいたのが、コミュニケーションの仕方を実際体験できてよかった」
「実際の業務内でコミュニケーションを振り返った時に、この研修で身につけた技法が役に立っていると感じた」
「他の人の意見や思いをくみ上げる具体的な方法を学べてよかったです」
「職員間のコミュニケーションだけでなく、対保護者、利用者に対しても今回学んだことを活かしていきたいと思います」